

(様式3)

事業所名 グループホーム安塚やすらぎ荘

作成日: 平成 30年 2月 26日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念を具体化した「目標」は、事業所の目指す方向性や支援の根拠を示す大切なものである。支援への理解が深まるように家族や地域に対しても「目標」を積極的に公表して実践状況を伝えていくことが望ましい。	法人理念をもとに、グループホーム単独の目標が職員の話し合いによって設定されている。職員への周知のみならず、ご家族や運営推進委員に積極的に紹介し、職員が日々その目標に向けて支援していることを紹介していく。	グループホーム・リビングに法人理念とともに、グループホームの目標を掲示する。 年2回発行している「おたより」の中にグループホームの目標を掲載する。 運営推進会議の中で目標を紹介する。	2～3ヶ月
2	34	利用者の急変や事故発生時は数秒を争うが、特に職員が手薄になる夜間帯の対応は職員個々の適切な判断と迅速な対応が求められる。日常的に起こりうる事故を想定した初期対応や救急処置について実践力をつけていく取り組みが必要である。	現在行っている研修に加えて、急変や事故発生時の初期対応・救急措置について看護師や専門家を交えた研修を実施する。	支所全体で急変や事故発生時の初期対応に関する研修を開催する。看護師はもちろん、場合によっては外部の専門家の協力を得て研修を企画する。	1年
	+				